

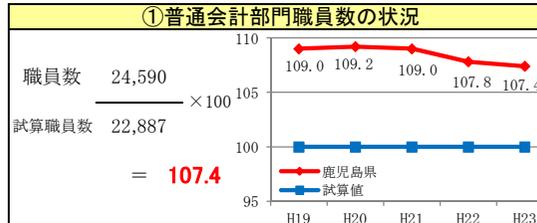
参考指標による職員数等の現状・分析シート

鹿児島県

<基本データ>

団体名	鹿児島県
人口(H23.3.31)	1,713,984 人
面積(H23.10.1)	9,189 km ²
全職員数(H23.4.1)	25,590 人
普通会計部門	24,590 人
一般行政部門	5,272 人
教育部門	15,940 人
警察部門	3,378 人
公営企業等会計部門	988 人
財政力指数(H22)	0.29

※教育・警察の各部門については、国の法令等により配置基準が定められています。

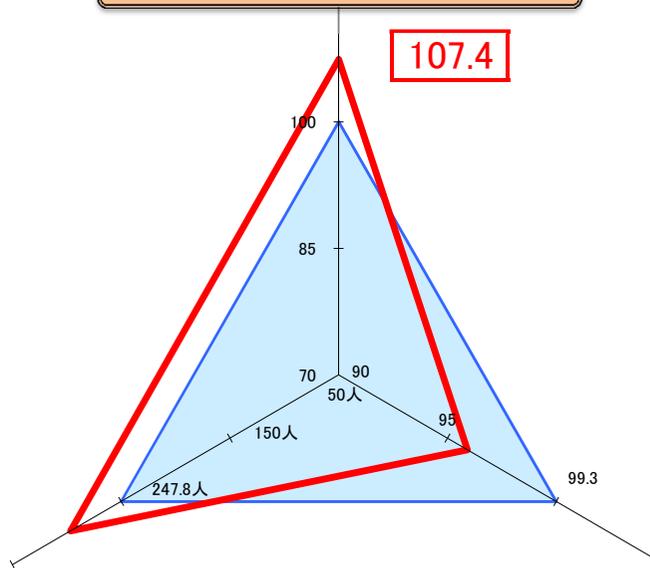


※人口・面積を基にした試算職員数と実際の職員数との比較を示しています。

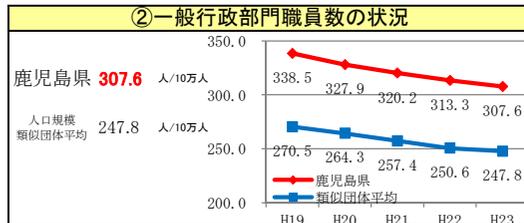
<三角形の見方>

- ・太線(赤)は鹿児島県の状況を表しています。
- ・細線(青)は道府県の平均値等を表しています。

①普通会計部門職員数の状況

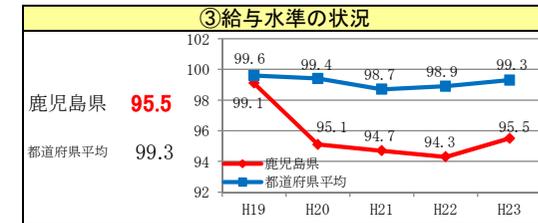


②一般行政部門職員数の状況



※人口10万人当たりの職員数を示しています。

307.6 人



※職員のうち一般行政職に係る給与水準を示しています。

95.5

③給与水準の状況

<分析欄>

【①普通会計職員数の状況】

・本県は熊本地域や奄美地域など人口規模の大きい外海離島を多く有するなど、その地理的状況に応じ、支庁や事務所等を複数設置し、職員を配置していることから、高い数字になっている。
・「行財政運営戦略」(H24.3策定)に基づき、「カミナギる・かごしま」、「日本一の暮らし先進県」の実現に向けた行政サービスの充実にも留意しながら、簡素で効率的な組織機構の整備等により、職員数の縮減を図ることとしている。

【②一般行政部門職員数の状況】

・平成17年度から平成23年度までの6年間で1,015人の縮減を行い、「組織機構改革方針」(H17.12策定)の縮減目標1,000人を4年前倒しで達成している。
・平成24年度も、60人以上を縮減している。
・今後、簡素で効率的な組織機構の整備及び民間活力の活用、民間委託の推進等による現業業務などの見直し等を進め、職員数の縮減を図ることとしている。

【③給与水準の状況】

・ラスパイレス指数は、平成16年度から実施、継続している給料月額の変額措置や給与構造改革の趣旨を踏まえた職務給の徹底などにより、国及び都道府県平均を下回っている。
今後とも、「行財政運営戦略」を踏まえ、職務給の徹底を図るとともに、給与制度の見直しや適切な運用に努めることとしている。

【④その他】